

2004年上半期[1月～6月]コンピュータウイルス届出状況

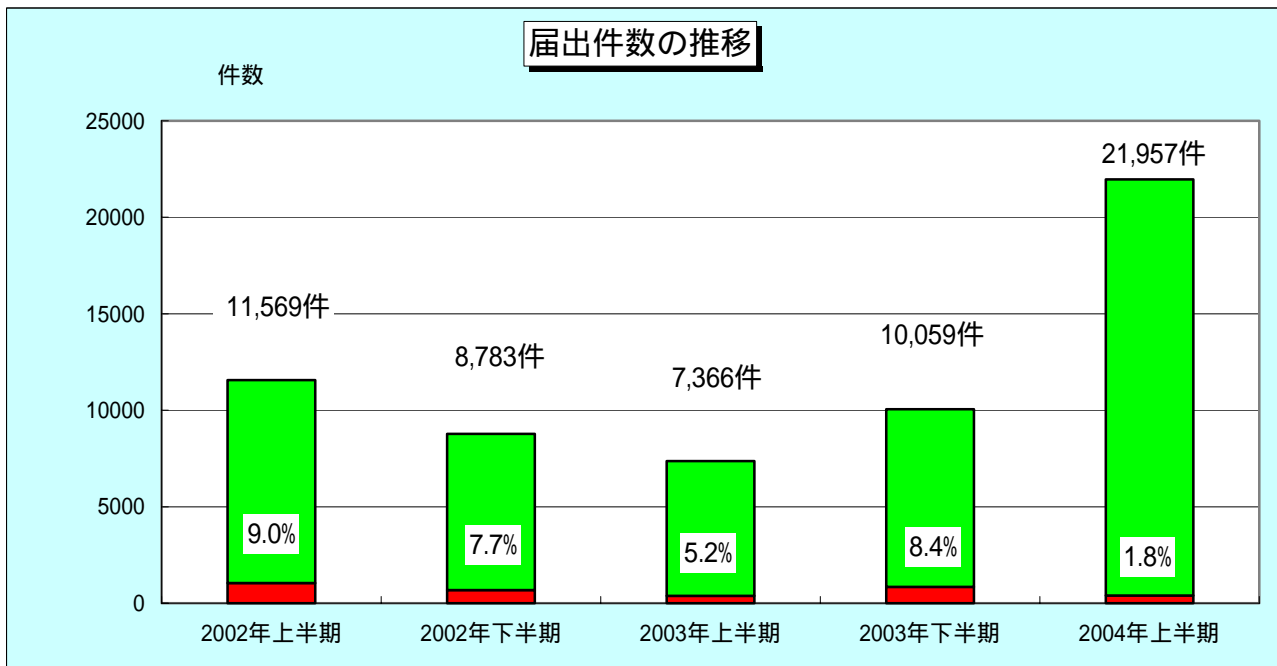
独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2004年上半期[1月～6月]のコンピュータウイルス届出状況をまとめました。

1. 届出件数

2002年から2003年にかけて減少傾向にあった届出件数が2003年下半期から増加に転じ、2004年の上半期には、2003年の年間届出件数 17,425件を半年で超える 21,957件もの届出が寄せられました。

2004年上半期には、W32/Mydoom や W32/Bagle、W32/Netsky など、複数の亜種が短期間に出現し、猛威を振るった状況が伺えます。(2. ウイルス別届出件数を参照)

下記グラフは、IPA セキュリティセンターが受け付けた半期(6ヶ月)ごとの届出件数の推移を示したものです。

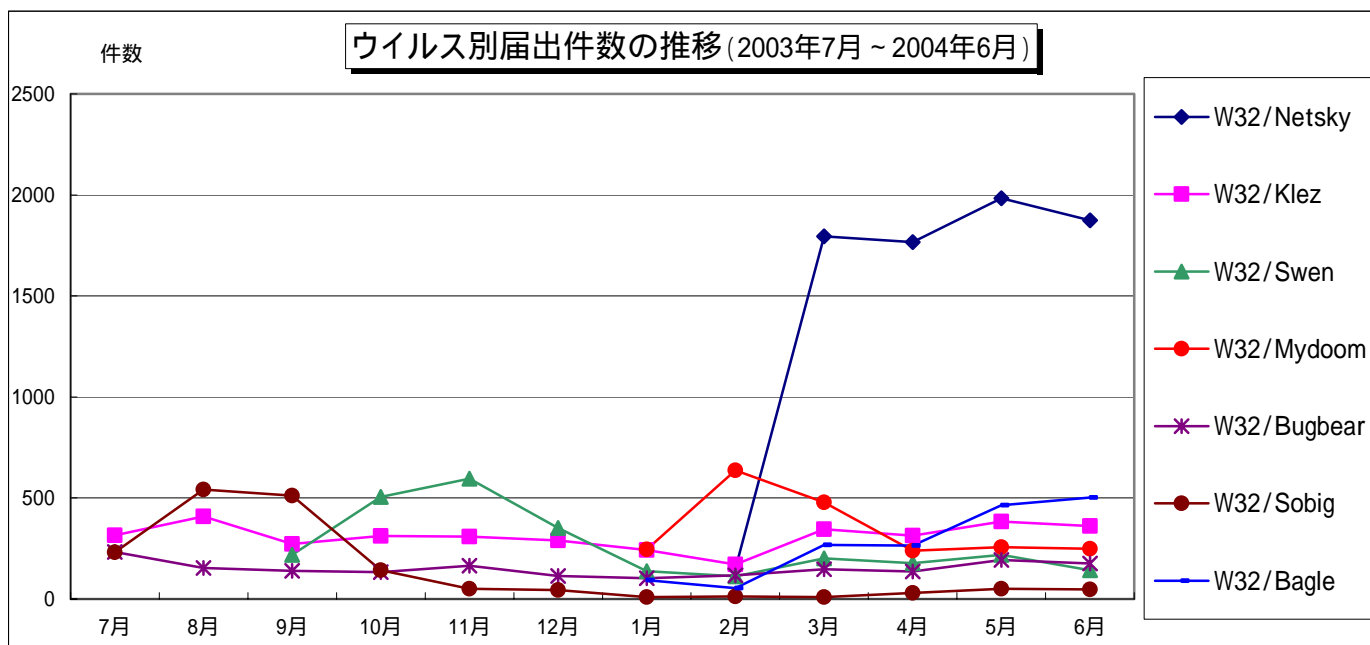


図中の%表示は感染被害に遭った割合。

2. ウイルス別届出件数

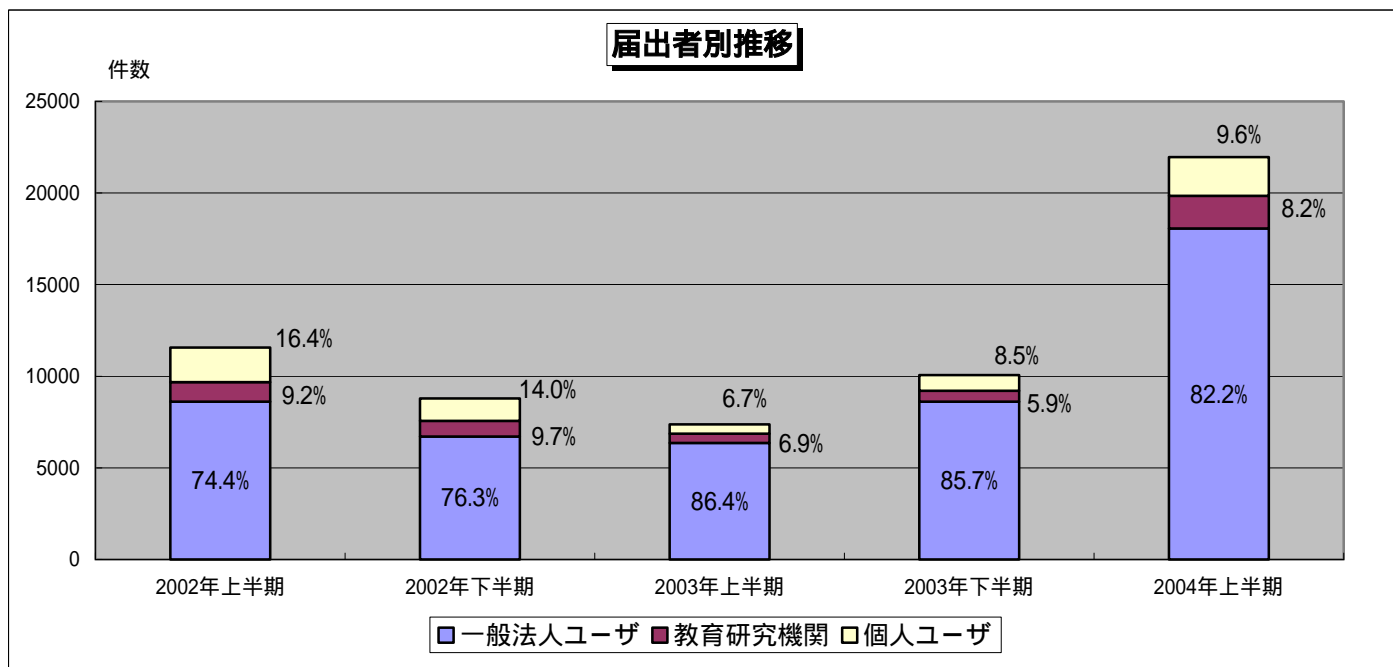
IPA に届けられたウイルス別届出件数の推移を見ると、2004年3月より W32/Netsky が突出している状況が伺えます。また、W32/Klez が継続して 300 件前後の届出が寄せられています。

感染していることに気付かずに、ウイルスメールを発信しているユーザが多数存在している可能性があります。**ワクチンソフト**を利用して、ウイルスチェックを日頃から実施するようにしてください。



3.届出者の分類

届出者別の内訳は、一般法人ユーザが8割を占める状況が続いています。



お問い合わせ先
 独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター
 Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp